

関心・やる気UPにつなげる授業づくり ①

課題設定を両面提示と片面提示で考える 教材のよさを際立たせる提示方法の工夫

両面提示とは、メリットとデメリットを両方伝える説得方法のことです。片面提示は、メリットかデメリットの片面しか伝えない説得方法のことです。どちらが優秀かはありませんが、授業では、片面提示の課題設定が多いので、両面提示の課題設定を中心に述べていきます。

例えば、小学5年生の社会科では、高い土地の暮らしの学習として、群馬県嬭恋村のキャベツづくりの事例があります。この単元を「地形の特徴は何だろう?」「嬭恋村の人々の工夫は何だろう?」などのようにメリットばかりに目を向ける課題提示を行うと、途端に授業が面白くなくなっていきます。これが片面提示です。

そうではなく、「高さ2000mの山々に囲まれた不便な土地なのに、なぜ嬭恋村の97%にキャベツ畑が広がっているのだろうか」「嬭恋村の人たちは機械を使った方が楽なのに、なぜ全て人の手で収穫を行っているのだろうか」のように、マイナスの面を提示していくことで、よさや工夫などのプラス面を引き立てることができます。もちろん、この課題も子どもたちの気付きを生かして設定していくとみんなの課題となり、主体的な学習がスタートしていきます。これが、両面提示を活用した課題設定となります。

教科書は、プラス面がどの子どもたちにも伝わるように配慮されているので、本当に子どもたちが「知りたい」「わかりたい」と思う提示方法を示すことは簡単ではないのです。だからこそ、授業を考える先生が教材分析の時点で、「どうして、**そもそも**こんなことをしているのだろうか」と**そもそも**を考えていくことが重要になってきます。それが課題に関する教材研究です。

ほかの例を挙げておきます。

①江戸時代の外国との交流

歴史の単元でも、「スペイン・ポルトガルと貿易した」「キリスト教を認めた」「キリスト教を禁止した」と知識だけを覚えようとしても混乱してしまいます。なぜなら、外国との交流は、その時代によってメリットとデメリットが移り変わるからです。ですから、「貿易で利益が出ているはずなのに、なぜ鎖国に踏み切ったのか」「鎖国をしているはずなのに、なぜ朝鮮通信使は歓迎されたのか」のように課題設定することで、当時の人たちの考え方や思いを考えることができます。

②日本の自動車工業

この単元は、自動車工業を例にとって日本の工業についての理解を深めていきます。ここでは、「電気自動車の方が環境に良いはずなのに、なぜ日本はハイブリッド車で勝負しているのか」のように、デメリットを提示した方が、子どもは深く「なぜ?」と問いを持ちながら、考えていきます。

③伝統工芸を守る人たちの工夫

この単元は、伝統工芸を守る人たちの思いに迫っていくのですが、普通に教科書を進めていくと薄っぺらな学習になりがちです。そこで、「儲けが少ないのに、なぜ伝統工芸を守ろうとしているのだろうか」のようにマイナス面を提示することで、人々の思いを深く考えることができます。

以上のように、両面提示は単元の課題の**そもそも**を考えるきっかけになります。今まで、みなさんが実践されてきた中で、上手いかなと感じた授業はおそらく、片面提示が多かったのではないのでしょうか。デメリットを提示してから、メリットを考えることでより学びが深まっていくことが期待できます。

さらに、そのデメリットも子どもたちの気付きからピックアップし、子どもと一緒に課題設定できるようになると主体的な学びが身についていきます。主体的な学びとは子どものみならず、授業づくりにおいて教師にも大切なことだといえます。

課題設定を子どもたちと一緒にするためには、
どんな資料を提示するかが、ポイントになってきそうね





まなび野洲チャレンジ！ 11

今回は、この問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。答えは最下段に載せています。



《大塚山古墳》

古墳時代の野洲市には、強大な勢力をもった一族がいました。その一族は、大岩山の麓から周辺の平野部にかけて大規模な古墳をつくり続けました。それらの古墳の集まりが大岩山古墳群です。

現在、円山古墳、甲山古墳、天王山古墳、宮山2号墳、大塚山古墳、亀塚古墳、富波古墳、古富波山古墳などの8つの古墳が、国の史跡に指定されています。

古墳時代前期から後期まで300年にわたって、この地域で途切れることなく古墳が築かれていったこととなります。このような大規模な古墳群は滋賀県には数少ないものです。

その中の一つ、現在は史跡公園として整備されている大塚山古墳は、どのような形状の古墳ですか？

- ①帆立貝形古墳 ②円墳 ③前方後円墳 ④方墳



おすすめの1冊

それでも先生を
続ける理由

『先生』に迷っているあなたへ



それでも 悩んだり、焦ったり、苦勞の毎日……
先生を続ける理由は、
あみたろう 目の前に子どもたちが
いるから。Instagramで大反響！

現役の小学校教師が描いた、子どもたちとのかけがえのない日々

『「先生」に迷っているあなたへ それでも先生を続ける理由』

あみたろう 著 出版社 東洋館出版

Instagramで「分かる」「癒される」と大反響のコミックエッセイ！
現役の小学校教師が描いた、子どもたちとのかけがえのない日々。
心あたたまる、笑える、泣ける、癒されるエピソードを62本収録。

—最近、SNSやテレビで、教師という仕事の大変な面が数多く報道されているのを目にします。それは、きっと多くの学校で当てはまることであり、解決していかないといけない問題なのだと思います。

でも、それだけじゃないんです。

教師でしか味わえない、教師という仕事の魅力もたくさんあるんです。そういうところも多くの人に伝えたい。(はじめにより)

国語科授業で実現する



教材発掘から授業開発まで—
もVUCAな時代に接近し
答えのない問いに挑む
学びのつくり方を徹底的に解説!

『国語科で授業で実現する「探究」』

深い問い・対話・批判的思考・創造的思考』

酒井雅子 著 出版社 明治図書

「よりVUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）な時代」において、子どもたちが探究心を培い、探究法を知り、クリティカル・シンキング（批判的思考）とクリエイティブ・シンキング（創造的思考）を学び取っていく授業を国語科でいかに実現するか？ 教材発掘から授業開発の具体までを丁寧に解説しています。

教員は、教室の子どもたちに向けて、創造的思考とそれを支える批判的思考の実体を理解し、それを取り入れた授業にふさわしい教材を発掘し、その教材を使った探究の授業を開発することが求められていると思われます。